

とねまち 議会だより

あなたと議会をむすぶ広報誌



ススキと雲（写楽会 三竹正男氏撮影）

9月定例会

No. 112

2010. 11. 12

総額95億6954万円はどのように使われたか （平成21年度決算他）	2
決算審査報告	6
平成22年度予算の補正	9
第3回定例会 議事概要	10
町政のここが聞きたい（一般質問）	
利根町議会日誌（平成22年7・8・9月）	14

平成22年第3回定例会は、9月2日から15日までの14日間で開催された。

本定例会では、条例の一部改正1件、補正予算9件、決算の認定9件の議案が提出され、各案件とも慎重に審議された。

平成21年度決算(一般会計・特別会計・企業会計)を認定 総額95億6954万円は

平成21年度一般会計の主な事業

総務

防犯対策事業・救命救急機器導入事業・デマンド型乗合タクシー運行事業・電子自治体推進事業。

土木

道路維持管理事業・スーパー堤防整備事業・上曾根運動公園整備事業。

民生

障害福祉サービス事業・老人保健事業・医療福祉事業・保健福祉センター運営事業。

消防

施設維持管理事業・防災施設事業。

衛生

母子保健事業・予防接種事業・清掃事業。

教育

学校給食運行事業・私立幼稚園就園奨励補助事業・語学指導事業・TT非常勤講師事業・生活指導員配置事業・放課後子ども教室対策事業。

農林水産業

生産調整推進対策事業・土地改良事業。

平成21年度歳入歳出

(単位：千円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引	
一 般 会 計	5,745,129	5,464,368	280,761	
特 別 会 計	国民健康保険(事業)	2,099,537	2,017,924	81,613
	国民健康保険(施設)	128,772	104,730	24,042
	老人保健	36,453	29,046	7,407
	公共下水道事業	453,503	372,924	80,578
	町営霊園事業	10,374	6,403	3,971
	介護保険	885,528	879,401	6,126
	介護サービス事業	6,424	4,569	1,854
	後期高齢者医療	242,267	241,182	1,085
企業会計	収益的(税込み)	423,001	344,515	78,486
水道事業	資本的(税込み)	3,780	104,481	△100,701
合 計	10,034,768	9,569,543	465,222	

※水道事業の資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額100,701,039円は、消費税資本的収支調整額と内部留保資金及び積立金で補填しました。

どのように使われたか

平成21年度一般会計支出決算 目的別性質別内訳

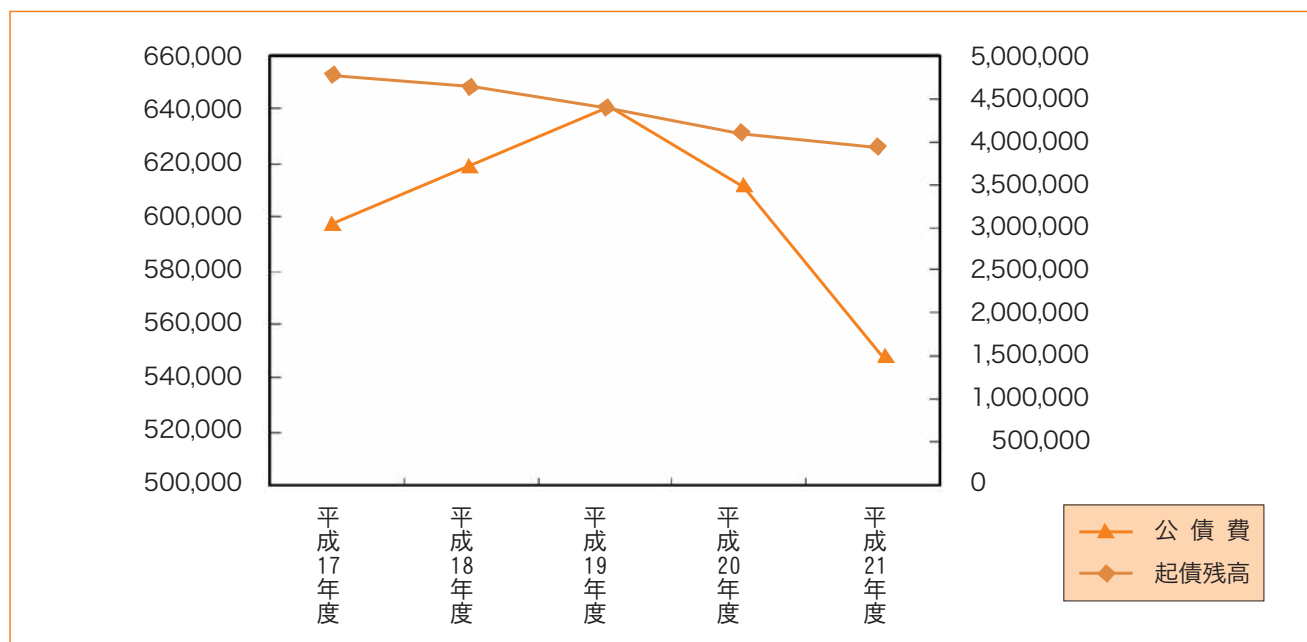
(単位：千円)

目的別費目	義務的経費			投資的経費		物件費			その他経費						合計
	人件費	扶助費	公債費	建設事業費	その他 投資的経費	需用費	委託料	その他 物件費	維持補修費	補助金	交付金	繰出し金	積立金	その他	
議会費	81,277	0	0	0	0	3,159	1,227	115	0	0	673	0	0	171	86,622
総務費	499,854	0	0	28,994	0	36,125	81,949	97,773	0	271,102	0	0	0	29,927	1,045,724
民生費	200,838	508,550	0	1,150	0	9,782	20,679	21,783	0	34,311	0	368,368	0	6,800	1,172,261
衛生費	62,946	0	0	26,188	0	12,577	84,815	10,897	0	1,629	84	0	0	458,481	657,617
農林水 産業費	55,138	0	19,079	299	0	1,154	5,269	1,797	1,270	27,500	2,390	0	0	111,695	225,591
商工費	6,707	0	0	0	0	1,547	1,600	0	0	6,450	0	0	0	5,552	21,856
土木費	74,436	0	0	159,516	116,835	2,526	5,565	2,146	36,466	0	0	193,828	0	4,829	596,147
消防費	11,866	0	0	17,756	4,379	4,190	4,820	7,964	0	100	0	0	0	273,248	324,323
教育費	242,764	18,794	0	159,366	0	68,989	34,441	73,884	4,015	3,828	0	0	0	17,806	623,887
公債費	0	0	550,370	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	550,370
諸支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	572	159,398	0	159,970
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,235,826	527,344	569,449	393,269	121,214	140,049	240,365	216,359	41,751	344,920	3,147	562,768	159,398	908,509	5,464,368

起債残高・公債費

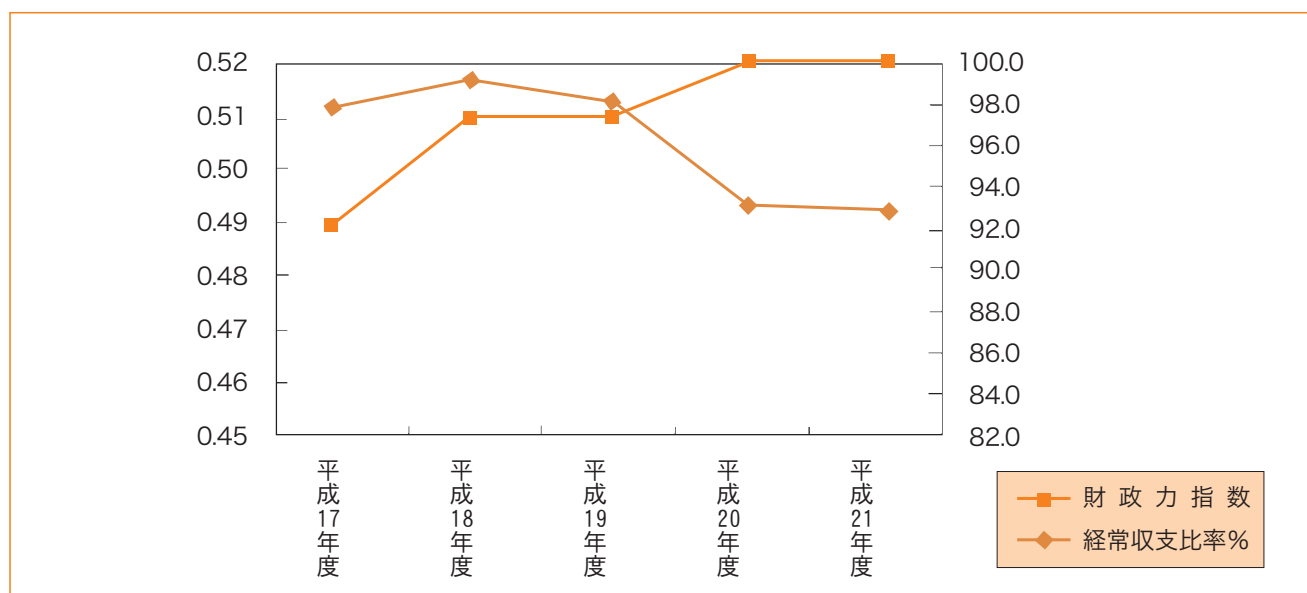
(単位：千円)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
公債費	598,423	618,491	640,884	612,612	550,370
起債残高	4,761,886	4,647,379	4,379,693	4,077,839	3,961,585



財政力指数・経常収支比率

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
財政力指数	0.49	0.51	0.51	0.52	0.52
経常収支比率%	97.8	99.0	98.2	93.2	92.9



公債費比率は8.8%で、前年度に比べ2.3ポイントの減となった。地方債現在高は前年度の40億7783万9千円に対し、本年度は39億6158万5千円と1億1625万4千円の減となっている。

経常収支比率は、92.9%と前年度に比べ0.3ポイント改善したが、財政の硬直化がなお懸念される。

財政力指数は、0.52と横ばいとなっている。(1に近いほど財源に余裕がある。)

平成21年度末の利根町基金残高一覧

単位：円

基金名	区分	前年度末現在高	決算年度中増減額	決算年度末現在高
利根町財政調整基金	現金	786,626,000	62,475,000	849,101,000
利根町公共施設維持事業基金	現金	196,879,000	△ 60,113,000	136,766,000
利根町地域づくり特別対策事業基金	現金	64,646,000	△ 2,295,000	62,351,000
利根町減債基金	現金	159,182,000	226,000	159,408,000
利根町地域振興基金	現金	1,475,000	△ 1,475,000	0
利根町環境施設整備基金	現金	312,980,000	△ 180,307,000	132,673,000
利根町義務教育施設整備基金	現金	144,910,000	△ 13,851,000	131,059,000
利根町地域福祉基金	現金	213,153,000	△ 1,064,000	212,089,000
新利根町川治水対策整備基金	現金	311,710,000	1,120,000	312,830,000
利根町成田線整備基金	現金	5,163,000	0	5,163,000
利根町農業経営基盤強化基金	現金	38,789,000	△ 3,613,000	35,176,000
茨城県利根浄化センター周辺地域生活環境整備基金	現金	223,703,000	△ 23,690,000	200,013,000
がらんぼる利根町応援基金	現金	140,000	130,000	270,000
利根町国民健康保険（事業勘定）財政調整基金	現金	87,569,000	76,882,000	164,451,000
利根町国民健康保険（施設勘定）財政調整基金	現金	52,778,000	11,238,000	64,016,000
利根町公共下水道事業財政調整基金	現金	21,523,000	△ 4,773,000	16,750,000
利根町霊園事業財政調整基金	現金	165,911,000	701,000	166,612,000
利根町介護保険特別会計給付費準備基金	現金	167,584,000	10,997,000	178,581,000
利根町介護従事者処遇改善臨時特別基金	現金	9,155,000	△ 3,679,000	5,476,000
利根町土地開発基金	畑	m ²	m ²	m ²
	金額			
	田	103m ²	m ²	103m ²
	金額	515,000		515,000
合計	現金	3,155,523,000	△130,519,000	3,025,004,000
	現	191,132,000	572,000	191,704,000

監査委員からの決算審査意見

平成21年度 利根町一般会計歳入歳出決算につき、地方自治法第233条の規定により審査を遂げたところ、収支ともに正確にして規定に違背した点なく、且つその計算は証書類と照合し、すべて正当なるものと認める。

平成22年8月4日

利根町監査委員 五十嵐 弘

利根町監査委員 五十嵐 辰雄

決算審査報告

平成21年度の決算審査は、4日間にわたって決算特別委員会で慎重に審議され、その後本定例会の最終日、本会議に以下のとおり特別委員会委員長から報告があった。

本会議での質疑・討論はなく採決の結果、全員賛成で認定された。

決算特別委員会

委員長 高木 博文

一般会計

歳入総額は57億4512万円、歳出総額は54億6436万円、執行率は95.1%で、差し引き残額は2億8076万円ですが、翌年度へ繰り越すべき財源7261万円を含んでおり、実質収支残額は2億814万円でした。

審査の全体を通じての発言は、ICT（情報通信技術）の進展に伴い、行政サービス、事務におけるさまざまなシステムが委託・賃借で運用されているが、それが果たして合理的なのか、特定の団体への集中が見られ、競争によるコスト削減が見られない、今後企画財政課を中心に関係する課等が英知を結集するとともに、ITコーディネーターなどの外部の力も借りて見直すべきではないか、また都市建設課関係でも、紙台帳からコンピュータ管理への切り替えを検討してはとの意見も出ました。さらに街灯・防犯灯、役場庁舎を含む町関連の公共施設の照明器具を見直しLED器具へ変えれば、当初の費用は高くとも、電力使用量や取り替えの負担と費用の軽減で財政負担も大きく軽減できて、中・長期的に町財政にプラスになるのではの発言もあり、これらの意見に対し、町としても現状を把握し、今後具体的な検討を開始したいと答弁がありました。款ごとの内容は以下のとおりです。

款1 議会費は、8662万円、執行率95.86%、会期日数46日、一般質問総数28人、傍聴者数171人、議会だよりは4回発行されました。

款2 総務費は、10億4572万円、執行率96.44%、AED（自動体外式除細動器）が町の公共施設及び小中学校校舎・体育館に19台設置されました。また、デマンド型乗合タクシーは、登録者が19人増加し1009人となり、年間の利用者は一般が4626人、小学校の送迎が7892人となっています。

款3 民生費は、11億7226万円、執行率97.6%、主な支出は社会福祉費8億5754万円、児童福祉費3億1471万円です。

款4 衛生費は、6億5761万円、執行率は96.07%、主な支出は保健衛生費1億2534万円、清掃

費5億3227万円で、利根町の歳出の約1割が清掃費です。このことを受けて特別委員会でもゴミの減量化、資源化について早期かつ具体的な検討の必要性を求める発言が集中するとともに、龍ヶ崎・高砂斎場の利根町住民の利用料金の軽減について発言がありました。

款5 農林水産費は、2億2559万円、執行率98.1%でした。

款6 商工費は、2185万円、執行率は88.3%でした。

款7 土木費は、5億9614万円、執行率は、70.51%、この低執行率の理由は、繰越明許費（道路橋梁費）が1億5560万円、不用額9376万円があったためです。

主な支出は、道路橋梁費2億335万円、河川費1億1388万円、都市計画費2億7830万円などです。

款8 消防費は、3億2432万円、執行率95.58%、主な支出は常備消防費2億5699万円（広域消防費）、非常備消防費2792万円（消防団費）、消防施設費2886万円（維持管理費）などです。

款9 教育費は、6億2388万円、執行率91.3%、繰越明許費1702万円は学校のデジタルテレビやパソコン購入分で、不用額4279万円は工事費や備品購入の契約差金、光熱水道の節約によるものです。支出の主なもの教育総務費1億4069万円、小学校費2億5652万円、中学校費5558万円、社会教育費1億6701万円です。

教育費の審議の過程で、利根町公民館の使用が社会教育法のもとで制約があることについて改善が求められ、今後公民館審議会で検討することが回答されました。

款10 公債費は、5億5036万円、執行率は99.99%、公債費の元利償還金として支出されました。

款11 諸支出金は、1億5997万円、執行率は100%でした。

款12 予備費は、支出0で、したがって執行率も0%でした。

特別会計

国民健康保険特別会計 ①事業勘定は、歳入20億9953万円、歳出20億1792万円、差引残高8161万円となりました。21年度末の国保加入者は年間平均6190人、年度末で6180人、世帯数は3226世帯です。主な支出は保険給付費12億6617万円、後期高齢者支援金2億6759万円、介護給付金1億1313万円、共同事業拠出金1億8417万円等で、高齢化の進行で保険給付費が前年比約1億円増えています。

②施設勘定では、歳入1億2877万円、歳出1億473万円、差引残高2404万円となりました。歳入では診療収入が薬の院外処方減となったものの、医薬材料の支出が減り、収支決算では、前年比13.7%の増となっています。今年度の患者実人数は1万903人で前年比166人の増となりました。

老人保健特別会計は、制度が平成19年度で廃止となり、平成22年度終了の予定で清算処理の段階に至っており、歳入3645万円、歳出2904万円、差引残額740万円でした。

歳入は過年度医療費負担金の国と県からの支出金と繰越金で、歳出は諸支出の償還金と一般会計への繰出金が殆どです。

公共下水道事業特別会計は、歳入4億5350万円、歳出3億7292万円、差引残額8057万円ですが、繰越明許費6969万円が含まれており、実質1087万円です。

主な支出は、下水道費2億1055万円（繰越明許費8209万円を含む）、公債費1億6237万円です。

この間の主な工事は羽根野地内の污水管敷設工事、早尾地内の下水道管施設補修工事等です。

町営霊園事業特別会計は、歳入1037万円、歳出640万円、差引残額397万円で、次年度に繰り越されます。歳入は使用料及手数料、繰越金等です。歳出は霊園管理事業の委託料が殆どで、財政調整基金積立金150万円を含んでいます。

介護保険特別会計は、歳入8億8552万円、歳出8億7940万円、差引残額612万円です。歳入では、生活の悪化を反映し収入未済額が普通徴収の現年度分、滞納繰越分ともに増える傾向にあることが判明しました。利根町の第1号被保険者は4842人、介護認定者は要支援104人、要介護442人で合計546人で、居宅介護支援サービス5924件、グループホームサービス324件、施設介護サービス1104件です。

介護サービス事業特別会計は、歳入642万円、歳出456万円で差引残額185万円でした。歳入は介護予防ケアマネジメント作成の収入、歳出はそのための業務委託料です。

後期高齢者医療特別会計は、歳入2億4226万円、歳出2億4118万円、差引残額108万円です。これは次年度へ繰越となります。歳入の主なものとは後期高齢者医療保険料9630万円、繰り入れ金1億4267万円等で、歳出の主なものとは総務費1027万円と後期高齢者医療広域連合納付金2億2854万円です。

水道事業会計は、総収益4億326万円、費用総額3億2946万円、当期純益7379万円でした。なお、資本的収支状況は収入378万円、支出1億448万円、収支差引1億70万円の不足で、この不足額は消費税資本的収支調整額、内部留保資金及び積立額で補填しました。

利根町廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正案賛成少数で否決

この条例改正案は、ゴミ袋の料金を約50%値上げして、住民の問題意識を喚起し、ゴミの減量を図ろうというものであったが、討論の後に採決した結果、賛成1名のみで否決された。賛成討論はなく、反対討論が守谷・高木両議員から行われた。

守谷議員の反対の論旨は、「4回開催された説明会の参加者合計が56名と大変少ない。町民に負担増を求める重大な問題であるから、各地域に出向き十分な説明を行い合意を得るべきだ。ゴミ処理に毎年約5億円が支出され、町の財政を圧迫している。その経費軽減が目的とすると、1枚につき10円の値上げでは殆ど効果がない。また、環境・資源問題の解決のためにゴミ減量化を図ると言っているが、その目標設定値が3%と大変低く効果は全く期待できない。以上、何のための条例改正なのか目的が明確でない。」というものです。

高木議員は、「利根町の一般会計の1割を占める清掃費関係予算の問題、生ゴミ中心の可燃ゴミの減量の徹底の努力、生ゴミの資源化に向けた町の取り組みの現状の報告、今後のゴミ問題の基本方向を明確に策定し、住民に協力を求める努力が必要だ。現在でも利根町のゴミ袋料金は取手・龍ヶ崎の2倍、今回の値上げで3倍になる。利根町住民のみ多大な負担は押し付けられない。したがって反対」というものでした。

平成21年度 健全化判断比率の状況

4つの健全化判断比率により、どのような財政状況にあるかを判断し、基準を一つでも越えると財政健全化計画を定め財政の健全化や再生に取り組むことが法律で定められています。

利根町は、すべての比率が早期健全化基準を下回っています。

しかし、毎年度基金（家庭で言えば預貯金）を取り崩し、歳入の財源不足に対応しています。今後も歳入の確保と行財政改革を図りながら、財政の健全化に努めることが必要です。

	利根町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	黒字	15%	20%
連結実質赤字比率	黒字	20%	30%
実質公債比率	16.0%	25%	35%
将来負担比率	1.5%	350%	

平成22年度予算の補正

一般会計

既定の予算額に、歳入歳出それぞれ3億457万1千円を追加し、総額53億8678万4千円になりました。歳入の主なものは、地方交付税、繰入金等であり、歳出の主なものは土木費・衛生費などです。

国民健康保険特別会計

①事業勘定について、歳入歳出それぞれ5532万1千円を追加し、総額21億1972万8千円に、歳入の主なものは繰越金で、歳出の主なものは、基金積立金です。

②施設勘定は、歳入歳出それぞれ1540万3千円を追加し、総額が1億4170万7千円、歳入の主なものは繰越金で、歳出の主なものは、基金積立金です。

老人保健特別会計

歳入歳出それぞれ740万7千円を追加し、総額901万3千円となりました。歳入は繰越金で、歳出は繰出金です。

公共下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ987万9千円を追加し、総額3億5415万7千円となりました。

町営霊園事業特別会計

歳入歳出それぞれ397万1千円を追加し、総額950万8千円となりました。

介護保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ2140万円を追加し、総額9億8404万4千円となりました。歳入は繰越金、歳出は一般会計への繰出金等です。

介護サービス事業特別会計

歳入歳出それぞれ185万4千円を追加し、総額621万9千円となりました。歳入は、繰越金で、歳出は一般会計への繰出金です。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、総額2億5986万8千円となりました。歳入は繰越金、歳出は一般会計への繰出金です。

水道事業会計

収益的収入及び支出の水道事業費用を530万円追加し、総額3億9399万1千円になりました。

平成22年 第3回利根町議会定例会 議事概要

会 期 平成22年9月2日(木)～9月15日(水) 実質審議日数9日間
 審 議 議 案 22件とその審議結果(数字は議案番号※印は賛否の討論があった議案)
 町 長 報 告

報告第 4号 平成21年度利根町一般会計継続費の精算報告について

【説明報告】

町長提出議案

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 40. 平成22年度利根町一般会計補正予算(第3号)の専決処分について | 【全員賛成承認】 |
| 41. 平成22年度利根町一般会計補正予算(第4号)の専決処分について | 【全員賛成承認】 |
| 42. 平成22年度利根町水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分について | 【全員賛成承認】 |
| ※ 43. 利根町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 | 【賛成少数否決】 |
| 44. 平成22年度利根町一般会計補正予算(第5号) | 【全員賛成可決】 |
| 45. 平成22年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) | 【全員賛成可決】 |
| 46. 平成22年度利根町老人保健特別会計補正予算(第1号) | 【全員賛成可決】 |
| 47. 平成22年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) | 【全員賛成可決】 |
| 48. 平成22年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第1号) | 【全員賛成可決】 |
| 49. 平成22年度利根町介護保険特別会計補正予算(第1号) | 【全員賛成可決】 |
| 50. 平成22年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) | 【全員賛成可決】 |
| 51. 平成22年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 【全員賛成可決】 |
| 52. 平成22年度利根町水道事業会計補正予算(第2号) | 【全員賛成可決】 |
| 53. 平成21年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件 | 【全員賛成可決】 |
| 54. 平成21年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件 | 【全員賛成可決】 |
| 55. 平成21年度利根町老人保健特別会計歳入歳出決算認定の件 | 【全員賛成可決】 |
| 56. 平成21年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 【全員賛成可決】 |
| 57. 平成21年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 【全員賛成可決】 |
| 58. 平成21年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件 | 【全員賛成可決】 |
| 59. 平成21年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 【全員賛成可決】 |
| 60. 平成21年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件 | 【全員賛成可決】 |
| 61. 平成21年度利根町水道事業会計決算認定の件 | 【全員賛成可決】 |

一 般 質 問

町政のここが聞きたい

問 一般廃棄物処理手数料指針の検討結果は

答 有機物循環型社会形成推進基本計画(案)策定方向

西村重之議員

問 高齢者の安否所在確認について

- ①本町に居住する住民の所在確認方法は。
- ②住民の安否に必要とした敬老者名簿を地域で支え見守る活動推進していくために、官民の連携が大切であり、情報の共有化が必要と考えるが。

答 ①利根町の高齢化率は27.5%。福祉課が100歳及び88歳(米寿)達成者への記念品等贈呈の際確認。
 一人暮らしの高齢者に対しては愛の定期便、緊急通報設置者「80名対象」には消防署員・介護保険利用者「546名対象」には認定時に面会確認実施。
 ②高齢者に対する地域での見守り等の推進は大切と認識するも、個人情報保護法の観点から各区には提出しない。なお、民生委員には高齢者台帳整備「279名対象」、地域高齢者の情報提供を望む。

問 一般廃棄物処理対策等について

- ①重量物処理負担(水分が約70%位含)となる生ごみ処理対策検討結果は。
- ②環境保全に繋がるごみの減量化対策の検討結果は。
- ③ごみ袋45Lにした場合、逆に増量に。また、高齢者がごみの集積場への搬出問題が出るとの恐れ、対策は。

答 ①生ごみの堆肥化等の基本計画である「有機物循環型社会形成推進計画(案)」を茨城大学農学部と連携して策定する方向で動いている。
 ②ごみ削減のインセンティブを図る目的もあり、環境や資源問題を住民に関心を高めてもらう施策で、中間施設や最終処分場の延命化に付随する。
 ③ごみ袋45L追加に絡み議案第43号は否決、執行しない。更に検討し何れかには住民の理解協力を仰ぐ。

問 予算は町民参加の事業仕分けにより編成を

答 事業評価を町民の参加により実施している

五十嵐 辰 雄 議員

問 行政刷新会議が行う事業仕分けは、国家予算の見直しにおいて国民への透明性を確保し事業が必要か否かを判断し、財源の捻出を図るとともに、政策、制度、組織について課題を発見する。事業仕分けは、公開の場において外部の視点を入れながら、事業ごとに要否等を議論し判定するものです。町民の税負担を町民に明らかにし、開かれた場において予算編成することが新しい地方自治の本旨で、急速に各自治体で導入する機運が盛り上がってきました。次年度予算編成で事業仕分けの考え方を伺う。

答 本町では、実施している事業について事業仕分けと同様に、必要性、有効性、今後の方針などを評価している。事業を最善の方法で行うための手法として、平成20年度から事業評価を試行的に行ってい

る。この事業評価の過程においては、町民の皆様にも参画をお願いし、ご意見をいただき、外部の視点から評価をいただいております。今後もこの方法を進めてまいります。評価の手順は、役場職員による段階的に一時評価、二次評価を行い、これを基に外部評価として町民に評価をお願いしております。最後に町長を中心とする総合評価委員による最終的な評価を行っております。21年度決算に基づく評価については、評価対象事業数407事業で、現行どおりが362事業、そのほか拡充、縮小、統合、見直し、休止、廃止に分類しました。廃止とされた事業が8事業です。この事業評価の結果は、利根町ホームページに掲載しております。

問 省エネ、エコ、高齢者対策は

答 積極的に進めたい

岩 佐 康 三 議員

問 町長公約のエコのまちづくりをどう進めているか。利根中に給食残飯を堆肥化する装置を入れたが、塩分濃度が強すぎて土地が固まる難点が出ている。小中学校の給食の残飯を堆肥化し販売できる事業として展開してもらいたい。ゴミ袋を値上げする前に、省エネやエコ対策を積極的に導入するべきだ。例えば、騎西町は消費電力の少ないLED防犯灯に切り替え経費削減と低炭素社会対応型防犯灯整備事業を始めた。LED消費電力は普通の蛍光灯の8分の1に減る。また、牛久市でIT関連の専門家に助言を求めて低コストで効果的な事業立案、IT費用の適正化を実現し、5年間で12億1200万円削減した。

答 茨大農学部と協力し塩分濃度を解決しながら堆肥化を推進していきたい。LED防犯灯は器具の価格が高く、費用対効果の調査研究を進めエコの町づくりをしてい

きたい。牛久市は独自でコンピュータシステムを運用しており、利根町の住民基本台帳、税や戸籍関係は茨城計算センターに委託している違いはある。一度、ITコーディネータを呼んだが、こういう仕事は初めてという話だったので見合わせた経緯がある。

問 10年後に65歳以上の高齢者は50%を超える。70歳を超えると運転に支障のある方や、買い物に行けない方が増えてくるので公共の交通網を再構築してほしい。大利根交通が取手駅から羽根野、フレッシュタウン、ニュータウンへ来るバス路線はどうなったか。

答 空き家を活用して町外から若い方を迎え入れ、高齢化を下げる政策を来年度から始めたい。商工会に宅配サービスの仕組みや組織作りをしていきたい。大利根交通の件は、認可が遅れ10月頃から運行すると聞いている。

一般質問 町政のここが聞きたい

問 子宮頸がんワクチンに公費助成を

答 他の予防接種とともに来年度から

高木博文議員

問 子宮頸がんワクチン予防接種の公費助成の緊急性が増している。国に先駆けて実施してこそ「子育て環境県下一番」の公約に合致する。子育てするなら利根町でと言われるように、公費助成実現の積極的な答弁を期待する。

答 前向きに検討して来た。幾つか問題点を感じていたが、払拭できた。子宮頸がんワクチンだけでなくヒブワクチンなど乳幼児の予防接種全般を見直し、限られた財政を活用し、半額助成も含め優先順位をつけて実施したい。

問 住民の住宅リフォームの需要が高まっている。地元業者との結び付きが弱く、町外の業者に発注する傾向がある。そこで町民が地元業者に発注すれば、上限を設け町が補助金を出す「リフォーム条例」の創設を求めたい。経済波及効果は10倍以上と言われ、茨城県下でも9自治体で実施中、

利根町でもこの制度を創設すべきと思うが町長の考えは。

答 財政難ではあるが、地域経済への波及効果は大きいと思う。利根町規模での需要は20件程度と思われるが、来年度に向けて具体的な検討を進めたい。

問 利根町に転居して来た住民がリタイアの時期を迎え、改めて利根町の歴史や文化、伝統、自然等に関心を寄せつつある。既に積極的な取り組みが展開されているが、行政としても町おこしの一環として位置付けし取り組みば、利根町により愛着をもつなど人口流出にストップをかけられるのではと思う。

答 趣旨には賛成で、既に学校の郷土学習、公民館講座、生涯学習の場で積極的に取り組まれている。今後もいっそう重視して進めて行きたい。

問 財政調整基金はあと何年保つのか

答 一般会計の全ての基金を活用する

守谷貞明議員

問 今年的一般予算は約49億4200万円です。その内の約3億7700万円は財政調整基金を取り崩し繰り入れ、更に4億円の町債（銀行に借金）を発行して、歳入不足の約7億7700万円を補っています。また、一般予算から公債費として、約5億3700万円が支出されています。一般家庭に置き換えると、収入が足りないので、貯金から3億7700万円おろし、更に4億円を銀行から借りて、過去に借金した分の元金と利息として約5億3700万円を銀行に支払っています。借金しては返済に充てる。こうしたことを続けることを、世間では自転車操業と言います。残念ながら、利根町は慢性的な歳入不足が続く、ここ5年以上、自転車操業が続いています。私は町の財政がどこまで持ちこたえられるか大変心配です。そこで、以下の質問にお答え下さい。

1. 現在の財政調整基金の残高は。
2. あと何年、財政調整基金が保つか。

答 1点目の財政調整基金の残高は、今回提出の補正予算後で、8億1000万円余りです。2については、財源不足により毎年度基金を取り崩して予算編成をしている状況ではありますが、この財源不足を何とか解消しようと、今年度策定した行政改革行動計画に基づき、収入の確保、歳出削減に取り組んでいるところです。ですから、あと何年もつかということではなく、一般会計の全ての基金の総額が、今回の補正予算後で約22億7000万円ございますので、この基金を活用しながら、今後も財政健全化に向けて取り組んでまいります。

問 夏休み、文小工事停電は学童に配慮不足

答 貼り紙等、事前に周知を図り実施した

能 登 百合子 議員

問 この夏異常な暑さの中、見学した文小の学童クラブは、工事のため全停電であり熱中症を心配した。文小は、学童クラブ、放課後子ども教室併設なので比較が出来、「あちらは出来、こちらは出来ない」「同じ利根の大事な子どもなのに」このような親の気持ちが直接町長に届いているのか。

答 児童クラブは厚生労働省、放課後子ども教室は文部科学省という縦割り行政の中、補助金の絡みで現時点では合同ですることは難しい。どちらを選ぶかは親の選択。

問 確かにどちらを選ぶかは親の選択。今のところ合同では出来ないのも分かる。でも聞いているのは、「同じことを合同でしてくれ」ということではない。子育ては、このことひとつを言うのではなく、大切な子ども達が一人前の人間に育つ準備を、ここ利根町でということ。そのために

は「出来ない」をもとにではなく、「どうすれば出来るか」を考えて欲しい。

町長は、町民に分かりやすく組織改革をした。係は多くなり、この問題はこの窓口と、それが担当一人の場合、職員の考え次第で変わってくることも出てくる。

町長の公約である「子育て環境県下一」「子育てするなら利根町で」そういう意味で、首長である遠山町長が全職員に対して、考えを隅から隅まで行き届くよう十分に伝えて欲しい。



問 子育て環境一層の推進策は

答 ワクチン接種・ブックスタートを始めたい

中 野 敬江司 議員

問 子育て環境一層の充実を図り推進することが大切だ。23年度及び中長期の具体的な整備についての施策は。

答 新型・季節性インフルエンザの予防接種ワクチンが一緒になり1回で済むので、今年度は1歳から15歳まで金額は決まっていないが、高齢者と同じように補助金を出したい。ヒブワクチンは65歳以上を対象にしたいが、ワクチン接種に全額負担すると5000万円ほど掛かるので、重点的に補助金対象を増やしたい。

23年度からブックスタートを始めたい。誕生日、小学校入学時によい本を選んで子供たちに配付したい。家族の皆さんと一緒に読むことで今まで以上に親近感を持っていただけたらと思っています。

問 学校指導要領が改訂されます。小学校は23年度、中学校は24年度から

完全実施される。理念、主な改訂事項は。

答 現行の理念である「生きる力」を育むこの理念は新学習指導要領に引き継がれる。改訂のポイントは、教育基本法等の初の改訂で授業時数が増加し各教科の中で、思考力・判断力・表現力を育成していくように改訂が図られた。

教育課程の編成については、小学校では、国語・社会・算数・理科・体育の授業時数を6学年合わせて350時間程増加し、高学年で外国語活動を1こま新設する。

中学校では、国語・社会・数学・理科・外国語・保健体育の授業時数を400時間程度増加する。利根町では、小学校で外国語活動の指導に当たる英語を専門とする教員は、文・文間小学校に各1名、布川小学校に4名おり、1年から6年生まで全学年・全学級で外国語活動を行っている。

利根町議会日誌 (平成22年7・8・9月)

平成22年9月30日現在

月	日	曜	活 動 内 容
7	6	火	平成22年度稲敷地方広域市町村圏事務組合（視察研修） ～7日まで
	9	金	平成22年度我孫子市・利根町まちづくり連絡協議会総会
	12	月	平成22年度成田線活性化推進連絡協議会要望活動
	17	土	平成22年度利根町PTA連絡協議会指導者研修会
	22	木	厚生文教常任委員会
	27	火	利根町国民健康保険運営協議会
	28	水	県南町村議会議長会
	"	"	第2回利根町土地利活用推進協議会
	29	木	平成22年第1回稲敷広域事務組合議会臨時議会
8	3	火	茨城県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
	5	木	第61回利根川治水同盟治水大会
	10	火	利根町戦没者追悼式典
	19	木	稲敷地方航空騒音公害対策協議会臨時総会
	20	金	利根町教育研究会・夏季一斉研修会
	21	土	利根町民納涼花火大会
	25	水	全国町村議会広報研修会
	26	木	全員協議会
	"	"	議会運営委員会
	27	金	平成22年第2回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
9	1	水	平成22年度第2回町村長・議長合同定例会
	2	木	第3回定例会 ～15日まで
	11	土	利根中学校体育祭
	15	水	全員協議会
	18	土	布川・文・文間小学校運動会
	26	日	敬老会
	27	月	第3回利根町土地利活用推進協議会（視察研修）

お知らせ

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場一階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。1ページ20円で複写サービスも行っています。図書館受付または議会事務局に申し出てください。また、利根町ホームページでも見られます。

町議会を傍聴しましょう！

議場は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し、審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回、9月定例議会の傍聴者は延べ26名でした。

次回の定例会議は12月14日（火）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 68-7990

発行責任者：利根町議会議長 若泉 昌寿

今月号の編集担当：高木 博文／能登百合子